

特別展

氷見の菓子

— 菓子づくりから見る氷見の文化 —



令和6年 **2月23日**(金) ~ **3月17日**(日)

氷見市立博物館 特別展示室 午前9時~午後5時

休館日 月曜日 (2月26日・3月4日・3月11日)

資料解説会 **2月24日(土)** 午後2時より〈参加自由〉

観覧
無料

氷見の菓子

江戸時代に加賀藩領だった氷見を含む呉西地域には、^{らくが}落雁や練り切り等をつくる際に使われる菓子木型の分布が多くみられ、加賀藩の菓子文化の影響が強いとされます。

しかし、近年は氷見においても冠婚葬祭の際に式菓子として落雁や練り切り等が用いられる風習が廃れています。そのため、特に大型の菓子木型を使って菓子がつくられる機会は少なくなっています。

今回の特別展ではかつて市内で営業していた、^{かどや}角屋、^{もりかんせんどう}森甘泉堂、^{なかせしよげつどう}中勢松月堂の3つの菓子店から寄贈を受けた菓子木型や、菓子用の調理道具を中心に、当館が所蔵する歴史資料や古写真などを用いて、氷見の菓子文化について紹介します。



式菓子をつくる際に用いられた家紋や「祝」、「法会」等の文字が刻まれた窓用菓子木型

氷見市立博物館

〒935-0016 富山県氷見市本町4番9号
 TEL.0766-74-8231 FAX.0766-30-7188
 E-mail : hakubutsukan@city.himi.lg.jp
 U R L : <https://www.city.himi.toyama.jp/section/museum/>

- 交通機関
 - 鉄 道 / JR 氷見線氷見駅下車、北西へ500m 徒歩7分。
 - バ ス / 高岡駅前から加越能交通バス氷見方面行、「南大町口」下車、徒歩1分。
 - 自動車 / 能越自動車道氷見インターから東に3km。
- 氷見市立博物館は、氷見市教育文化センター内にあります。

